

事業番号	04 04 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検	
事業名	地域の交通安全を推進するための事業	部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課
		実施期間	S45 ~	E-mail	kurashi-shohi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減				

1 現状と課題

目指す姿	①交通安全関係機関・団体、市町村等と連携して、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより県民の交通安全意識を高め、交通事故の総量抑制と交通事故死傷者数の減少を図ることで、交通事故のない安全で安心な県民生活の実現を目指すこと ②交通事故被害者等が抱える補償問題や生活問題等の解消すること ③「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」が基本理念として掲げる「安全・安心な県民生活の確保」と「自転車の利用促進」を目指すこと ④高齢者の安全運転を支える支援策を講ずることにより、高齢ドライバーに起因する事故を防止すること	
これまでの取組	①長野県交通安全実施計画等の策定及び長野県交通安全運動推進本部・地方部による顕彰、交通安全運動等の啓発活動実施 ②交通事故相談員による交通事故被害者等からの相談、助言等を行う交通事故相談所の運営 ③長野県自転車活用推進計画の策定及び各年代における自転車安全教育の充実による安全安心な自転車利用の推進 ④高齢ドライバーの安全運転及び免許返納者の日常生活を支える支援策の検討	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	①交通事故の発生件数及び死傷者数は減少傾向にあるが、飲酒運転や妨害運転等交通ルールの違反や交通マナーの改善が必要である ③自転車の事故発生件数は減少傾向にあるが、本県の自転車事故の約7割が自転車側に違反があるため、安全教育や交通ルールが十分に行き届いていない ④高齢ドライバーに起因する死亡事故が約3割を占め、高齢者の免許保有数も増加していることから全国同様に高齢者ドライバーに対する事故防止対策が求められる	①関係機関・団体、市町村等と連携し、交通安全運動や啓発活動等を行い、交通ルールや交通マナーの向上を図り、地域の交通安全を推進する ③推進団体・機関等との連携し、第2次自転車活用推進計画(仮称)を策定するとともに、安全教育の充実や交通ルールの向上を図るために各年代に応じた啓発活動を実施する ④高齢者自身に身体機能低下の気付きを与え、安全運転を支える対策を実施する

2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	【No.1 交通安全運動推進事業】 ・松本地域振興局公用車(EV車)更新の事業費の確定による減額及び地域脱炭素移行・再エネ推進交付金充当による財源更正
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【ゼロカーボン】 ・環境に配慮した省エネ移動手段としての自転車利用を促進 ・松本地域振興局におけるEV(電気自動車)の導入

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値
1	交通事故死傷者数(暦年)	人	7,624	5,802	↑	5,741	↑	6,000
2	自転車事故発生件数(暦年)	件	772	628	↑	626	↑	600
3	高齢ドライバー事故による死者数(暦年)	人	24	14	↑	14	↑	20
4								
5								

区分(単位:千円)		R2年度	R3年度	R4年度
事業コスト	前年度繰越	0	0	0
	当初予算	22,100	22,873	22,834
	補正予算	-186	0	-640
	合計(A)	21,914	22,873	22,194
	うち一般財源	21,656	22,630	21,123
決算額(B)		20,133	19,526	
職員数(人)		10.0	9.0	9.0

設定理由	成果指標	1.交通安全対策全般の施策の成果を図る上で継続的に把握可能な数値であり、最も適した指標と考えられるため 2.安全安心な自転車利用の成果を図る上で継続的に把握可能な数値であり、最も適した指標と考えられるため 3.高齢ドライバーへの事故防止対策の成果を図る上で継続的に把握可能な数値であり、最も適した指標と考えられるため
	目標値	1~3.R2~3年度はコロナ禍での交通量減少が要因と考えられるため、R1年度比で20%向上することを目標とした。

事業番号	04 04 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地域の交通安全を推進するための事業			部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算		
1	交通安全運動推進事業	3,401 千円	4,967 千円	当初 補正	5,544 -640 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	交通安全対策会議による交通安全実施計画の策定	直接	第11次長野県交通安全計画に基づく「令和4年度長野県交通安全実施計画」を策定			
2	長野県交通安全運動推進本部顕彰	直接	長野県交通安全推進本部(本部長:知事)において、交通安全の推進に功労のあった模範的な個人・団体・市町村に顕彰を実施			

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算		
2	交通安全啓発活動事業	1,644 千円	1,652 千円	当初 補正	1,522 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	交通安全運動	直接	県・市町村・県警察本部・教育委員会及び交通安全関係団体による季別の交通安全啓発活動の実施(ポケットティッシュ・反射材の配布など)			
2	交通安全運動推進地方部(地域振興局単位)が行う重点啓発	直接	地方部(地域振興局)ごとに地域の状況等に応じて重点的に取り組むテーマ(例:飲酒運転撲滅等)を定め、これに基づいて交通安全の重点啓発活動を実施			
3	長野県ダンプカー協会に対する補助金交付	補助金	協会が実施する交通安全対策事業(事業者や運転者への研修会や過積載防止パトロール等)への補助(補助対象経費の1/2以内)			

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算		
3	交通事故相談所運営費	12,013 千円	13,439 千円	当初 補正	13,252 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	県内3箇所の常設相談所の運営、巡回相談の実施	直接	交通事故相談員による交通事故被害者等からの交通事故の様々な問題や悩み、疑問などの相談に応じた説明や助言等の実施			

事業番号	04 04 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	地域の交通安全を推進するための事業		部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算	
4	安全安心な自転車利用推進事業	3,749 千円	1,778 千円	当初 1,600 補正 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	安全・安心な利用に関する周知・啓発	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・「親子交通安全絵本」(5～6歳児対象)を作成・配布し、家庭及び幼稚園等での教育を促進 ・「自転車安全ルールブック」(小学校新一年生対象)を作成、県内全小学校へ配布 ・ヘルメット着用や保険加入の重要性を周知する「自転車安全利用促進チラシ」を作成し、自転車事故件数の多い中学生や高校生、自転車販売店へ配布 		
2	「第2次長野県自転車活用推進計画(仮称)」の策定	直接	長野県では「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」に基づき、自転車活用推進計画(現行「長野県自転車推進計画」(平成31年度から令和4年度))を定めることとしていることから、有識者会議を開催し、第2次長野県自転車活用推進計画(仮称)を策定		

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算	
5	高齢ドライバー運転事故防止対策関連事業	1,107 千円	1,037 千円	当初 916 補正 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	高齢者の安全運転を支える対策	直接	(一社)日本自動車工業会の「いきいき運転講座」を活用し、市町村交通指導員等を対象に、高齢ドライバー向け交通安全講習指導者養成研修を実施		